

# たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

## あいさつ運動

今朝は、氷点下の冷え込みで、栽培委員会の子どもが花に水をやろうとしても凍結していて水が出なかった。そんな中で、六年生を中心とした子どもたちがあいさつ運動を続けている。登校してきた通学班に「おはようございます。」と声をかける。すべての通学班が登校し終わると運動場に一列に並び、校舎に向かって「全校のみなさん、おはようございます。」と声をそろえて呼びかける。その声にこたえて、各教室から「おはようございます。」の音が学校全体に響く。船穂小学校の朝はこうして始まる。この声を聞くたびに、とても爽やかな気持ちになり、船穂小学校に勤務すること船穂の子たちといっしょに暮らすことをうれしく思う。

前任校で、入学したての一年生に「おはようございます。」と声をかけると、何人の子が立ち止まって「おはようございます。」とぺこりと頭を下げる。どこかの幼稚園か保育園で指導されたのだと思うけれども、すごく丁寧で自分も見習うことにした。歩きながらきちんとあいさつをすべき人に会ったときは、歩みを止めて両足をそろえてあいさつをする。相手によい印象を与えるというよりも、自分がきちんとあいさつができたと思えとても気持ちがよい。

毎朝、学校の近くにお住まいの地域の方と出会う。その方も歩みを止めて両足をそろえてあいさつをされる。車の窓を開けて「おはようございます。」と返すのだけれど、ただの朝のあいさつというだけでなく、船穂小学校を大事に思っているように見え、今日も頑張ろうという気持ちにさえなる。

あいさつは心がけや習慣という面もあるが、その人の生き方や人となりまで表れているようにも思う。わたしも朝のあいさつ運動の子どもたちのように、さわやかなあいさつができるようになりたいと思っている。

